

授業科目                      病理学 I

【担当教員名】  池上 喜久夫		対象学年	2	対象学科	臨床
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		○		○	
【概要・一般目標：GI0】 ・人が疾病に至る理屈を理解する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 病気によって体に現れる一般的变化を、系統的に概説することができる。					
回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	細胞傷害と細胞増殖	1	講義、担当：池上 喜久夫		
2	組織・細胞の修復と再生	1	講義、担当：池上 喜久夫		
3	循環障害	1	講義、担当：池上 喜久夫		
4	炎症	1	講義、担当：池上 喜久夫		
5	代謝異常	1	講義、担当：池上 喜久夫		
6	代謝異常	1	講義、担当：池上 喜久夫		
7	腫瘍	1	講義、担当：池上 喜久夫		
8	腫瘍	1	講義、担当：池上 喜久夫		
9	腫瘍	1	講義、担当：池上 喜久夫		
10	細胞診総論	1	講義、担当：池上 喜久夫		
11	感染症	1	講義、担当：池上 喜久夫		
12	免疫機構の異常	1	講義、担当：池上 喜久夫		
13	免疫機構の異常	1	講義、担当：池上 喜久夫		
14	遺伝の先天異常	1	講義、担当：池上 喜久夫		
15	老化	1	講義、担当：池上 喜久夫		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		シンプル病理学	笹岡公伸	南江堂	2,900円＋税
参考書		解明病理学	青野克之	医歯薬出版	15,000円＋税
その他の資料					
【評価方法】 ・小テスト 30% (講義内に3回行う) ・定期試験 70%		【履修上の留意点】 講義は教科書を中心に行う。新しい言葉が沢山でてきますのでしっかりと復習をして、知識を確実に身に付けて下さい。 参考書は、図書館に配備してありますので活用して下さい。			